



くつうしん きんだーりーぶ第198号(2023.9)より

長年キンダーリーブを応援して下さった皆様にお伝えしなければなりません。

このたび10月下旬をもちまして、小樽の今の店舗を一旦手放して実店舗での営業を終了することとなりました。今後は移動販売車での出張販売・講演会業務と、オンラインショップ・電話、メール、ファックスでのご注文に対応する事務所業務にて再出発致します。

振り返ればあっという間の20年間です。我々夫婦に子どもがいなかったので、「お店が子どもなんです」と冗談交じりにお客さんによく言ったものですが、今20年経ち子どもが成長して手を離れようとしているということかも知れません。

確かにボードゲームなど今は普及してあちこちで手に入るようになりましたし、高価な木のおもちゃもネットで最安値を検索して買うのが当たり前で、実物を見るためにだけお店に来店される方が珍しくもない時代になりました。

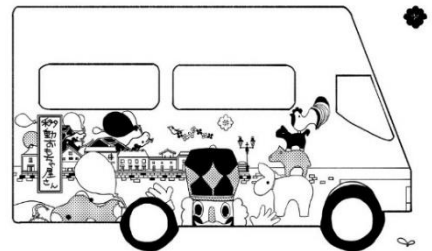
ある意味マーケットは成長して、良いおもちゃと遊び環境を普及するキンダーリーブの開拓者としての役割りは一旦終わろうとしているのかもしれませんが。かつての商店街が大スーパーやデパートへ、そして今はネットショッピングへと目まぐるしく栄枯盛衰を繰り返すような時代の流れとは、一線を画する運営をしてきたつもりではあるのですが・・・。

元々縁もゆかりもなかった小樽で、当時としては珍しいショッピングモールで「ぱふおたる店」としての5年近い営業でスタートし、その後飛び出して今の場所に移って、小樽らしい石蔵を改造してプレイルームとカフェ併設だった時期もある、この今のキンダーリーブを15年近く続けてこれたことは私には宝です。それはスタッフさんたちとお客様との共同作業のようなものであって、一匹狼だった私にとっては得難い経験でした。

「大人になってからの貴方を支えるのは、子ども時代の貴方です」という石井桃子さんのことばに従えば、キンダーリーブという子どもの成長に立ち会うことで、一回きりの人生という旅を最後まで生きていく勇気をもたらしたような気がしております。あるいは、母校が閉校になる卒業生OBの気分でしょうか。

もう一度繰り返しますが、キンダーリーブという事業は継続します。

今のお店を閉じることは残念ですが、また新しい始まりだと思っております。あるいはまたいつかどこかの街で再開しているかもしれません。それまでは移動販売車 4代目キンダーリーブ号ともども、これからもよろしくお願いたします。



店長杉本

